

新宮山産ぐるーぷ第2166回

行仙宿巡回整備と白谷トンネルの通行確認

◇実施日 3月6日(日)

晴時々雪

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄

2名

先週の日曜日、2月27日に今年第一回目の春季定例巡視を14名が参加して、玉置山く21世紀の森間を交差登山で行った。例年7回に分けて山在峠く前鬼までの南奥駈道を整備している。その中で行仙宿、持経宿がベースとなる巡視が3回あり、池郷白谷林道と国道425号の走行可否を事前に確認する事が必須条件となっている。



池郷林道の復旧工事状況

R425の橋梁工事

下北山村役場に道路状況を問い合わせもしてみたが、詳しい情報は

持っておらず、やはり自身の目で確認する必要があると考え行仙宿に二人で出かけた。

朝9時半に役場駐車場に集合、梶野君は来る途中で池郷林道の復旧工事現場を覗いてきてくれた。崩れた法面はモルタル吹付後のネット張も完了していて、舗装の準備が進んでいた。残りの工事は舗装とガードレールの設置だけに思えるそう。何とか今月中に通行再開となるように願っている。



白谷トンネルは通行可

行仙宿に到着

室温は0℃

役場を離れて行仙宿に向かう。四ノ川林道の1kmほど手前の橋で工事が行われていた。2月末に完工の予定だったが、積雪が多かったためか工事が遅れているようだ。特別通行止めの表示も無くすんなりと通過させてくれた。工事はいつまでか、日曜の通行可否は？と聞いてみたが責任者が不在のようで、はっきりとした返事はもらえなかった。四ノ川林道の入り口を横目に白谷トンネルの通行状況を確認に向かう。トンネル東口に設置されていたバリケードは撤去

されていた。西口にも障害物は無いようだ。当初の予定通り3月4日に冬季通行止めは解除されていた。

補給路登山口に到着、約50日ぶりの行仙宿だ。1月には有った積雪は殆ど消えていた。モノレール終点から第2ベンチの間は雪が残って、一部は氷になっていた。

梶野君が小型のバッテリーチェーンソーを買った。帰りに川島橋手前の倒木を試し切りする、とモノレール終点にデポした。

沖崎はコンクリートブロックを一枚背に行仙宿に向かう。第2ベンチ上の伐採地まで来ると、西からの風が強く吹きつけ時折雪迄降ってきた。大変寒く真冬に戻ったようだ。

行仙宿に到着、先に着いた梶野君がストーブに火を入れていた。小屋内の温度はちょうど0℃、風も強くて外の作業はできそうにない。



水場を清掃



本日の参加者



倒木切除

管理棟を開けて不用品の整理をしていると、梶野君が来て「水場

を見てくる」と熊手を持って降りて行った。

沖崎は管理棟と小屋内の不用品整理と掲げていた行仙宿建設時の写真をアルバムに変更するために取り外す。強い風で飛ばされそうなタンやブルーシートの補強を行う。程なく梶野君が水場から戻ってきた。

発電機を始動してみたが、1月と同じように始動せず。児嶋さんの出勤をお願いしなくてはならない。



倒木切除



川島橋異常なし



無事下山

昼食後、空ペットボトル等の不用品を手に早々に下山した。モノレール終点から、梶野君は小型チェーンソー、沖崎はノコを手で川島橋に向かった。途中で直径10cm弱の木と20cm位の倒木を処理した。中国製のチェーンソーは使えそうだった。川島橋に異常は無かった。

(記：沖崎)

行動タイム

09：30 下北山村役場駐車場→09：52 白谷トンネル→10：05 補給路
登山口→10：45 行仙宿 13：05→13：18 モノレール終点→13：34 川
島橋→13：50 モノレール終点→14：02 補給路登山口